



令和3年5月14日

各位

会社名 近鉄グループホールディングス株式会社
代表者名 取締役社長 小倉 敏秀
(コード：9041 東証第1部)
問合せ先 経理部長 磯川 直之
(TEL. 06-6775-3465)

営業外収益及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、令和3年3月期（令和2年4月1日～令和3年3月31日）の連結決算及び個別決算において、下記の通り営業外収益及び特別損失を計上することといたしましたので、お知らせいたします。

1. 営業外収益の計上について（連結）

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う特例措置の適用を受けた雇用調整助成金の支給申請の実施等により、令和3年3月期の連結決算において14,933百万円を雇用調整助成金として営業外収益に計上することといたしました。

2. 特別損失の計上について

(1) 固定資産の減損損失の計上について（連結）

当社の連結子会社が保有するホテル事業資産等の一部の固定資産について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき将来の回収可能性を検討した結果、収益性の低下がみられたことから、令和3年3月期の連結決算において28,788百万円を減損損失として特別損失に計上することといたしました。

(2) 事業構造改革費用の計上について（連結）

当社及び当社の連結子会社において実施しておりました希望退職に伴う特別退職加算金や、当社の連結子会社における店舗撤退に係る損失等の発生により、令和3年3月期の連結決算において8,394百万円を事業構造改革費用として特別損失に計上することといたしました。

(3) 子会社等関連損失の計上について（個別）

当社が保有する一部の連結子会社の株式の実質価額が低下したため、「金融商品に関する会計基準」に基づき、令和3年3月期の個別決算において7,978百万円を子会社等関連損失として特別損失に計上することといたしました。

なお、本特別損失は連結決算において消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

3. 連結業績への影響

上記の営業外収益および特別損失の計上につきましては、本日公表の「令和3年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映いたしております。

以上